

令和8年度 東濃地区教育推進協議会教育実践研究奨励賞
「実践記録、教材・教具の部」入選者講評一覧(中学校・義務教育学校)

No.	教科・領域	作品名	学校名	応募者名	作品の説明	写真	講評
1	社会	社会 基本用語カルタ	土岐市立 泉中学校	岡島 美沙子	外国人生徒が聞き慣れない上、難しい日本語である社会の用語を飽きず繰り返し取り組めるカルタを作った。読み手は問題文に慣れ、取り手は用語を覚えられる。授業始めの5分を利用して活動している。		本作品は「ことばを“道具”として使いこなす力」を育てる点で価値がある。その基礎となる語彙への抵抗感を、遊びの要素で軽やかに取り除いているところに工夫がされている作品である。
2	技術・家庭	和服の伝統文化 「板締め絞り」パネル	土岐市立 泉中学校	毛利 知美	日本で古来から使われてきている和服の染物や織物にふれ、体験することで良さに気づき、新しい発見ができる教材である。		伝統産業の「雪花絞り染め」を生徒に体験してほしいという強い願いを感じる。これほどの質と作業量を1時間の授業に落とし込んでいるところに、指導力の高さがうかがえる。製作の工程が丁寧にまとめてあり、広められるようにしてあるのも魅力的である。